

労働安全衛生大会の「大会宣言」を承認！

第63回理事会議事録

平成28年10月4日（火）午後3時～午後3時47分 ビルメンテナンス会館4階会議室

1 お祝いの贈呈

10月3日に東京都功労者表彰を受賞した佐々木会長に対し、一戸名誉会長から協会としてのお祝いが贈呈され、佐々木会長から謝辞が述べられた。

2 審議事項

第1号議案 入会の承認について

賛助会員 NGP-FOTEC株式会社

木村総務委員長から、標記会社の事業概要及び入会動機等が述べられ、入会申込書に基づき面談した結果、入会に問題はないとの提案説明があり、全会一致で承認された。

第2号議案 平成28年度労働安全衛生大会の「大会宣言」について

高安労務管理委員長から大会宣言案文が読み上げられ、全会一致で承認された。

3 報告事項

(1) 全国協会報告 佐々木地区本部長ほか

① 平成28年度ビルクリーニング技能検定の受検申請状況について（榎本全協執行委員）

9月23日現在の受検申請状況は、全国で3,485名、東京・関東甲信越地区で1,921名となっている。特に、旧単一等級の科目で受けられる最後の年ということで、1級の受検者数が増加している。

② 平成28年度建築物清掃管理評価資格者講習会の受付状況について（木村全協理事）

今年からインスペクター資格一本化の改正が行われ、各地区で講習会が始まっている。受講者は全国で542名とで昨年より若干少ないが、インスペクターが徐々に浸透してきている。累計約5,000名の資格者がおり、今回、2,854名が移行手続きを行っている。

③ ビルクリーニング職種外国人技能実習生受け入れ対応について

10月上旬、実習生28名が入国し、琵琶湖研修センターにおいて、マナー等の仕事面、交通ルール等の生活面の1か月研修を受けている。実習生受け入れが当初の予定よりも進まない原因は、業務シフトの問題、経費の問題、ベッドメイク作業禁止の問題、周知不足などであるが、現在、それらの問題の解決に取り組んでいる。

(2) 委員会報告

ア 総務委員会 木村委員長

① ビルメンテナンスヒューマンフェア&クリーンエキスポ2017の共催について

全国協会は、来年度から毎年、（一社）日本能率協会とともに、東京ビッグサイトにおいてフェアを開催することになり、全国協会から東京協会に共催の依頼があった。共催団体としての協力内容は、出展者募集等が中心であり、財政負担はないということで、共催するこ

ととした。なお、東京協会が2年に1度独自に開催しているビルメンテナンスフェアについては、賛助会員からの存続要望の意見を受け、引き続き開催することとしている。

② 第17回日本ガラスクリーニング選手権大会東京大会の後援について

東京ガラス外装クリーニング協会（GCA）から標記大会について後援の依頼があり、承諾した。

③ 「再発防止対策講座」の実施報告について

改善活動推進事業として、日常的に現場で発生する「トラブル」「クレーム」等に対応することを目的に、再発防止策の習得のための講座を開催した。受講者は12名で、5月から9月まで全5回で、座学とグループ研究などの講座を実施した。

④ 第43回海外研修視察について

9月15日に募集を締め切り、総勢22名の研修視察団が決定した。視察先はイギリスで、欧州一の超高層ビル「The Shard」の視察やバス、ストーンヘンジ等の世界遺産見学を行う。

⑤ 平成29年度理事会・総会等の開催予定について

平成29年4月以降の理事会は、従来どおり原則として第一火曜日とするが、5月はゴールデンウィークとの関連で第二火曜日の9日とする。また、平成30年の新年賀詞交歓会は1月11日（木）に浅草ビューホテルで開催する。第7回定時総会は平成29年5月30日、第51回優良従業員表彰式は同年6月20日に開催する。

イ 労務管理委員会 高安委員長

① 労務管理セミナー「マイナンバー法セミナー（本格運用に備えて）」の開催について

11月4日（金）、マイナンバー対応が本格化する年末調整事務等に備えるため、社会保険労務士の関根光氏を講師としてお招きし、標記セミナーを開催する。

ウ 厚生委員会 榎本委員長

① 第90回ビルメン野球大会の実施報告について

5月からスタートした野球大会は、9月11日に西武プリンスドームにおいて、3位決定戦と決勝戦を実施し、無事終了した。参加チームは34チームで、優勝はシミズオクト、準優勝はサニクリーン東京であった。

② 第7回屋形船ナイトクルージングの実施報告について

9月17日、東品川からレインボブリッジ、お台場を巡るナイトクルージングを実施した。参加者は38名であった。

③ 第196回ゴルフ大会の開催について

11月15日（火）、紫カントリークラブ すみれコースにおいてゴルフ大会を開催する。定員は40名である。

エ 経営研究委員会 梶山委員長

① 「10年先のビルメン経営戦略セミナー」の実施報告について

9月12日、全国協会専門委員の松本卓三氏を講師として「総合評価方式の普及促進に対する対応」と「最低賃金1,000円時代と人手不足への対応」をテーマにセミナーを開催した。参加者は70名で、参加者アンケートでは半数以上が満足したと回答している。

② FM最新機器セミナー「地球温暖化と省エネ」の実施報告について

9月26日、FM小委員会担当セミナーとして標記セミナーを開催した。第1部は「ビル管理のための省エネ対策」（講師はクールネット東京技術専門員）の講演、第2部は「エネルギー・マネジメントと省エネ設備改善商材の紹介」（講師はパナソニック株式会社エコソリューションズ社エネマネ推進センター社員）を行った。参加者アンケートでは7割以上が満足したと回答している。

③ ビルメンテナンス業者向け初級FMスクールの開講について

10月～来年3月まで、全5回の日程で初級FMスクールを開講する。講師は、日本ファシリティマネジメント協会専務理事の成田一郎氏である。

オ 建築物衛生管理委員会 石上担当理事

① 講師講習会実施報告について

9月1日、8日の両日、当委員会及び障がい者等自立支援委員会講師を対象として、ビルクリーニング技能検定（1級～3級）の新検定課題についての実演と解説を実施した。

カ 警備防災委員会 佐藤委員長

① 「震災対策・対応セミナー」の実施報告について

9月20日、警視庁警備部災害対策課地域防災係長の跡部勇警部を講師にお招きし、想定される首都直下型地震の被害想定や職場の安全対策等に就いて講義していただいた。参加者は、37社64名であった。

② 警備業務に関する実態調査の実施について

警備業の登録をしている会員306社を対象に、例年実施している「警備業務に関する実態調査」を実施する。調査項目は、警備業の形態や雇用・契約などの状況で、3月末までに調査結果を報告書としてまとめたい。

キ 障がい者等自立支援委員会 松井委員長

① セミナー「人手不足の打ち手としての障がい者雇用でやるべきこと」の開催について

11月10日（木）、第1部「障がい者雇用を取り巻く環境～いまさら聞けない障がい者雇用制度～」、第2部「人材不足を補う障がい者雇用～障がい者を現場で戦力化するために～」とのテーマで標記セミナーを開催する。講師は、株式会社FVP代表取締役の大塚由紀子氏（中小企業診断士）と障がい者雇用シニアコンサルタントの三塚澄江氏で、定員は50名である。

(3) 事務局報告 鷲見専務理事

① 9月の事務局の動きと今後の予定について

9月20日から28日まで、ビルクリーニング技能検定の複数等級化による機材の増加に伴う、地下シャワー室の倉庫への改築工事を実施した。

② 会員名簿の発行について

今年度の会員名簿を発行した。

(了)